

## (6) 歯科

### ① 指標の達成状況と評価

策定時*の値と直近値を比較	項目数	目 標 項 目
A 目標値に達した	1項目	・ 80歳で20本以上歯を保持する割合の増加
B 目標値に達していないが改善傾向にある	2項目	・ 3歳児の一人平均むし歯数の減少 ・ かかりつけ歯科医を持つ割合の増加
C 変わらない	0項目	
D 悪化している	0項目	
E 評価困難	0項目	
合 計	3項目	

- 3歳児の1人平均むし歯数の減少については、目標には届かないものの、平成11年からの10年間で半減したが、全国平均よりはまだ高い。
- 80歳で20本以上歯を保持する割合の増加については、目標値に達した。
- かかりつけ歯科医を持つ割合の増加は、有意に増加し、改善した。男女別にみると、女性のほうがかかりつけ歯科医を持つ割合が高かった。

### ② 指標に関連した主な施策

- 宮城県歯と口腔の健康づくり推進条例の制定
- 宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画の策定
- みやぎ出前講座（学校、事業所等）
- 歯科保健推進事業（歯科口腔衛生普及事業、歯科保健推進アドバイザー設置事業等）
- 8020運動推進特別事業（乳幼児歯科保健対策事業、みやぎ8020運動推進事業、学校歯科保健連携推進事業）
- 歯科保健対策総合強化事業（乳幼児フッ化物集団塗布モデル事業、口腔機能育成者資質向上化事業等）
- みやぎ21健康プラン推進事業、みやぎ健康の日普及事業（ホームページや健康情報誌、各種イベント等による普及啓発）

### ③ 今後の課題

- 3歳児のむし歯本数は、10年間で半減したが、全国平均よりはまだ高いため、フッ化物

応用（塗布・洗口）などを地域や学校などでより一層推進していくことが必要である。

- 80歳で20本以上の歯を有する者の割合は目標に達したが、健全な食生活等生活の質の向上にも寄与するため、乳幼児期から、歯周病や歯予防活動を行い、歯の喪失を予防することを啓発していく必要がある。
- かかりつけ歯科医を持つ人の割合も増加したが、目標には達していないので、更なる啓発活動が必要である。特に、20～30歳代の若い世代で、かかりつけ歯科医を持つ人の割合が低いので、定期的な歯科健診や歯石除去等の必要性などとあわせて、普及していくことが有効と思われる。